

SIRE



サイア

CONTENTS

- 2 ジェネティクス北海道 家畜改良顕彰
- 4 現場レポート(肉) 長崎から宮城、そして鹿児島へ
～第11回全国和牛能力共進会種牛の部出品牧場を訪ねて～
／ET講習会合格者
- 7 ☆食レポ☆ 「手づくりハンバーグSORA」
「農業生産法人株式会社エフシーエス 直売場」
- 8 注目のカウファミリー 第35回 カンプスホロー アルティチュード ET EX-95
- 10 第14回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会
- 12 2017 全道ホルスタインナショナルショウ
- 14 現場レポート(乳) 目指せ!酪農家 ～ジュニアリードマンを訪ねて～



とみ

ジェネティクス北海道

平成22年より当団で実施している改良に顕著な貢献
この度の種雄牛評価成績2017-8月の総合指数(GNTP)上位40位以内に新しくラン

GNTP第3位	JP3H56191 カトム サンダーバード	歌登町 小椋義則牧場
GNTP第6位	JP3H56451 パインツリー ナツクル ボーイ	岩手県 松村文継牧場

小椋牧場 (北海道 歌登町)



左より 小椋氏、奥様の尚美さん、JA宗谷南松永課長、当団石村専務

昭和57年に新規就農として歌登町パンケナイに入植し、開牧35年目となります。

現在は成牛70頭、育成牛75頭を管理されており、1頭あたり11,000kgの平均乳量を誇る牛群です。

また、種雄牛造成にも力を入れており、当団では7頭目、他団体を含めると15頭が種雄牛としてデビューをしております。

今回登場した「カトム サンダーバード」は母系が北米を代表する種雄牛であった「コナントエーカーズ JY ブローカー」の姉「BS シモナ」を曾祖母に持つ「オムラファームスイートネス」が受精卵により生産されたことに始まり、繁栄しているファミリーとなり、その子孫たちは最新の総合指数にも経産・未経産ともに上位にランキングしております。サンダーバードは、成績上位はもちろんのこと、ア

ウトクロス種雄牛として、交配しやすい種雄牛でもあります。

実は、サンダーバードの冠名である『カトム』は漢字で書くと『歌登夢』と書き、町村合併となった歌登町の地域を愛する仲間が、歌登の夢を追いかけて、異業種の仲間たちと集まる会の名称であるそうで、1年限定の候補種雄牛への冠名だったそうです。そのたった1年間の冠名での『歌登夢』を冠した種雄牛が誕生したことによって、メンバーの夢がかなって歌登夢の皆さんは大喜びだそうです。

受賞された小椋氏からも、全国の酪農家に喜んでもらえることを心より期待しています、というコメントをいただいております。

松村牧場 (岩手県 葛巻町)



左より スーダンを授精した人工授精師の今松祐一さん、松村文継さん、当団石村専務

松村牧場は、母方のご実家から純粋なホルスタイン種を譲り受け、本格的な酪農業を始め、現在は飼養頭数64頭(うち経産牛35頭、未経産牛25頭、黒毛和種4頭)で、1頭当たりの乳量は11,000kgです。つなぎ牛舎で文継さんご夫妻、今年から入った従業員1名の計3名で毎日の飼養管理を行っています。

今回選抜された「ナツクル ボーイ」のファミリーは、過去にも種雄牛を生産したことのある「エボニー」の流れで、多くの優秀な娘牛・息子牛を輩出しています。最近ではナツクルボーイに引き続き、兄妹である「パインツリー デイフエンダー タイタニック」(♂:デイフエンター)が、2才で84点を獲得し、未経産時にはGNTP100位以内に入っ

ていました。現在、松村牧場の牛群の半分がこの「エボニー」のファミリーで、皆気質が大人しく、乳量が出ることに加え乳器の付着が高いことが特徴です。

松村さんからは、「ここまで来ることができたのは周りの皆さんのおかげです。これからもできる限り酪農を続けて、運が良ければまた種雄牛造成に関わりたい」とコメントをいただきました。



家畜改良顕彰

をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、キングされた4頭の国産種雄牛の生産者に顕彰いたしましたので、受賞者を紹介します。

GNTP第10位	JP3H56258 レディースマナー アドミレーション	更別村 天野洋一牧場
GNTP第20位	JP3H56204 サリックス シーブリーズ	富良野市 磯江真徳牧場

天野牧場 (北海道 更別村)



左より JAさらべつ影山敏司常務、今川昌彦専務、天野洋一氏、若園則明組合長、当団榎谷常務

第14回全日本共進会の経産牛名誉賞「レディースマナー MB セレブリテイ」の生産牧場として有名な天野洋一牧場で生産された種雄牛「レディースマナー アドミレーション」が今回GNT P 10位にランキングされ選抜されました。

天野牧場からは、「レディースマナー プレジャー ET」に続く2頭目となる当団種雄牛です。「レディースマナー ギャルズパラダイス」を代表とするファミリーからの種雄牛で、天野氏本人も期待していたそうです。

「本牛の母「レディースマナー エアリエル パラダイス ET」(生涯生産乳量6万キロ突破)にスーダンという掛け合わせは魅力を感じるし、アウトクロスでバランスのとれた成績は雌牛を選ばず使えるのでは」とおっしゃっていました。

磯江牧場 (北海道 富良野市)



左より 磯江真徳さん、当団石村専務

経営者である磯江真徳さんが酪農業を継承して3代目になり、2001年に現在の同市八幡丘に移転しました。8月より(株)SALICS DAIRYに登記変更。総頭数620頭(経産牛310頭、未経産牛310頭)を飼養しており、昨年の総出荷乳量は2800tで、牛群平均乳量は1頭当たり10,700kg。フリーストール牛舎で14頭ダブルの平行式ミルクングパーラー。経営面積は210ha(牧草地110ha、デントコーン100ha)。

自らの牛群に北米からの優良遺伝子を多数導入しており、疾病が少なく健康な、そして長命連産できる牛群を理想としています。現在では、「ライルハイブン リラ Z」ファミリーが繁栄中です。

「シーブリーズ」の祖母「サリックス ビューティ ダーハム」は当場の代表牛で、2006年と2007年に北海道ナショナルショーで2年連続1等賞に入賞、また2歳半型の年検乳量20,660kgで歴代3位の記録を保持しています。

長崎から宮城、そして鹿児島へ

第11回全国和牛能力共進会

種牛の部 出品牧場を訪ねて

平成29年9月7日から11日まで5日間にわたり宮城県で開催された「第11回全国和牛能力共進会」の種牛の部(2区・3区・6区)で、当事業所が担当するエリアの今金町とむかわ町から、北海道代表として出品された3牧場にお話を伺ってきました。



【今金町】

北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、道南地域では珍しく海岸線がありません。豊かな自然が残されている後志利別川流域には、先住民族であるアイヌ民族もかつて居住しており、現在も「美利河(ピリカ)」や「カニカン」などアイヌ語に由来する地名が数多く残されています。

第6区(高等登録群) 優等賞4席 今金町 佐藤弘一 牧場

昭和61年に今金町の助成事業を利用して広島県より5頭の繁殖牛を導入し、黒毛和種の繁殖経営をスタートしました。平成8年より黒毛和種の肥育を始め、一貫肥育経営となりました。現在では繁殖牛32頭、肥育牛23頭を管理されています。また、佐藤さんご本人は、今金町和牛生産改良組合の組合長、道南および北海道和牛振興協議会の会長として、地元および北海道の和牛改良に尽力されています。



第6区出品牛3頭 左から ななゆり号(母)(父:百合茂)
 ななよし号(娘)(父:芳之國)
 ななかつ号(孫娘)(父:勝早桜5)

和牛全共への出品は、第10回長崎大会で第8区(肉牛の部)の出品に続き、今大会で2大会連続の出場となりました。



第6区 ななかつ号(孫娘)(父:勝早桜5)

今大会で出品された第6区は、産肉能力だけではなく、繁殖能力にも優れた高等登録牛の母・娘と孫娘の直系3代にわたる3頭1組として出品する区で、出品条件を満たすだけでも非常に難しい中、佐藤牧場の出品牛「ななゆり」(母)・「ななよし」(娘)・「ななかつ」(孫娘)が17組51頭の中から、見事に優等賞4席に入賞しました。



佐藤さんは「順位として満足することはないが、北海道らしい体長・体深・体幅の3拍子揃った体積雄大な雌牛生産を確実に全国へアピール出来た。自分の牛だけが特別ということではなく、北海道の繁殖雌牛たちはステップアップしているため安心して購買してほしい。また、次回大会では北海道らしさに磨きをかけ更に上位を目指したい」と北海道らしさへの追及と次回大会への抱負を伺う事が出来ました。



佐藤弘一さん

第3区(若雌の2) 1等賞8席 今金町 木島隆浩 牧場

平成2年に今金町内から3頭の繁殖牛を導入し、黒毛和種の繁殖経営をスタートしました。隆浩さんは3代目で、現在では60頭の繁殖雌牛を飼養しています。また、当団の現場後検中の候補種雄牛「H黒-260 隆久守」(写真)の生産者でもあり、種雄牛づくりも熱心にされています。隆浩さんは、「初めての全共で出品牛の体調管理はとても勉強になりました。佐藤さんの群出品をみて、群への憧れもあります。出来ることなら今大会のリベンジとして2区・3区の単品区に再挑戦したいです」と力強く目標を語ってくれました。



第3区 ちちんぷいぷい号(父:勝早桜5 祖父:雲仙丸)



木島隆浩さん

また、約半年間今金町出品牛の雌牛の調教・調整を共にされた今金町農業協同組合営農部酪農畜産課加藤課長は、「今金町和牛生産改良組合として必ず、次回大会にもチャレンジできるものを全て挑戦していきたい。北海道和牛振興協議会の掲げる改良目標に沿い、さらに、今回の反省を糧として今金らしさを表現していきたい」と地域の改良への意欲を語ってくれました。



H黒-260 隆久守

【むかわ町】

道央圏の南方に位置し、北海道の経済・文化の中心都市である札幌市や空の玄関の千歳市、海の玄関である苫小牧市にも近く、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。平成18年3月27日に穂別町・鶴川町が合併し「むかわ町」が誕生しました。

第2区(若雌の1) 優等賞10席 むかわ町 加藤啓介 牧場

加藤牧場は昭和48年に雌牛5頭(糸系)を旧鶴川町内から導入し黒毛和種の繁殖経営を始めました。現在は繁殖牛40頭と畑作・稲作を家族で経営されています。父の光昭さんは、鶴川町和牛改良組合の組合長を務めており、啓介さんは5年前に帯広畜産大学修士課程を卒業し、

今年の1月、経営移譲により加藤牧場3代目牧場主となりました。その後初の大事な仕事が今回の全共となりました。鶴川和牛改良組合は20年前の第8回大会(岩手県)に継ぐ2度目の出品でした。啓介さんは「最も苦労したことは雌牛の調教でした。様々な関係者から指導をいただきました。また、現在では様々なツールも利用でき、SNSや調教に関係することをインターネットで調べて試したりもしました。」幼馴染でもある鶴川農業協同組合営農部販売課毛利審査役が、会場で伝達係となりサポートしてくれたことで、神経質になりすぎずに良い緊張状態で本番を迎えられ、最後に「改良組合・並びに青年部の方々の協力を得て出品することが出来たので、次回大会は仲間たちと群出品ができるよう努力していきたいです」と、大会前と違って、穏やかな表情で話してくれました。



第2区 しらゆりひめ号(父:勝早桜5 祖父:百合茂) 啓介さんと父の光昭さん



加藤啓介さん



鶴川和牛改良組合出品団



今金町和牛改良組合出品団

最後に、和牛全共直後でいつもよりタイトなスケジュールの中、快く取材をお受けしてくださいました。今金町佐藤弘一さん、木島隆浩さん、JA今金町加藤課長、むかわ町加藤啓介さん、JAむかわ毛利審査役に厚くお礼を申し上げます。

(道央広域事業所 澁川 航八)

平成29年度(第38回) 家畜(牛)体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

平成29年8月21日から9月7日の間実施した「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

秋吉 珠早	内海 貴宏	郡司 祐貴	高橋真寿美	信田 潔	村井 遥
池上聡一郎	小川 岳志	性全 祐美	戸田 紗織	早川 暉	山田 瑞樹
池上 貴大	小倉 千秋	菅原 将太	富永 晃司	林 健一	山田 悠未
井上 望	雁部 雄輝	鈴木 康彦	中村 菜々	東館 健	結城 慎也
井口 捺美	瘡師真由美	高橋 香菜	西井 亮太	細谷 晶大	

児玉和也が行く!

Moo飲んだ? Moo食べた?

「SORA」で「星空の黒牛」をいただこう!

今回は標茶町ブランド牛「星空の黒牛」を100%使ったハンバーグレストラン「手づくりハンバーグSORA」に行ってきました。

「星空の黒牛」は農業生産法人株式会社エフシーエスで摩周湖の清らかな水を飲み自家製の牧草を食べて丹精込めて肥育されたブランドF1牛です。



代表 椎木順也さん

「SORA」代表の椎木順也さんは興部町出身で、地元の牧場レストランで働かれた後、結婚を機に標茶町に移り、自分のお店「SORA」をオープンしました。「星空の黒牛」のみを使用した理由は、椎木さんが各地のブ

ランド肉でハンバーグを試作してみた結果、「星空の黒牛」が一番脂身すっきり、赤身のコクが深かったためだそうです。

1番のお薦めは「SORA ハンバーグセット」です。ポイントは粗く引いた9ミリと6ミリのミンチをちょうどよく混合することでしっかりとした歯ごたえ、ジューシーさとコクの旨味が生まれ、ソースも肉の



SORAハンバーグセット

素味を崩さないようにシンプルに作られています。実際に試食させていただきました。鉄板で焼かれた粗引きハ



仕込み終了

ンバーグの肉汁がジュージューと音を立てながら牛肉の香ばしい香りが食欲をそそり、さらに星空の黒牛の素味と豊かな風味が口いっぱいに広がりあ

っという間に完食してしまいました。他にもメニューは豊富でパスタやカレー・ピザなどあり、全ての料理に椎木さんが長年研究された努力と成果が詰まっています。「これからはもっと標茶産の食材を使って月替わりメニューを作っていきたい」と椎木さんは笑顔で話していました。

標茶町に来られた際には、おしゃれでかわいい「手づくりハンバーグSORA」で優雅にランチはいかがですか? また「星空の黒牛」は(株)エフシーエスの直売場で販売しています。



外観



おしゃれなカウンター

手づくりハンバーグSORA

代 表: 椎木順也

住 所: 〒088-2301 北海道上川郡標茶町旭4丁目6-1
標茶駅から徒歩8分

TEL&FAX: 015-486-7887

営業時間: 11:00~14:00/17:00~20:00

定 休 日: 日曜日

農業生産法人株式会社エフシーエス 直売場

住 所: 北海道川上郡標茶町多和472-9
標茶駅から車で10分

T E L: 015-485-1938 定 休 日: 日曜日

(道東事業所 児玉和也)

注目のカウファミリー 第35回

キャンパスホロー アルティチュード ET EX-95

写真1



今回は世界一著名なレッドキャリア(以下RC)のファミリーと言っても過言ではない「キャンパスホロー アルティチュード」ファミリーを紹介します。アドVENT REDやアブソリュート RED、アクミーを始めとするショウブルや、レッド&ホワイトのショウリングを賑わしているKHW レジメント アツプル RED EX-96【写真3】等、世界のショウリングを席卷するファミリーです。特にアツプルは、2011年ワールドデイリーエキスポ(以下WDE)のレッド&ホワイトショウでグランドチャンピオン、2013年にはリザーブチャンピオンに輝き、また100万ドル(日本円で1億円以上)の高額で売買されるなど、世界の注目の的となった牛であり

ます。現在日本にはアツプルの子孫となる雌牛が30頭以上おり、着実にその血液を拡げています。

今回は当ファミリーのショウでの側面ではなく、インデックスでの活躍に焦点を当てます。ウィスコンシン州南部ベルモントに位置するキャンパスホロー牧場のリチャード・キャンパス氏は、1998年に同州のクローバーミスト牧場の離農セールにてアルティチュードの祖母クローバーミスト オーギースター EX-94とその娘【写真2】を購入しました。当ファミリーの赤毛因子はジユブリアント娘牛のオーギースターに由来します。2000年に当ファミリーの基礎牛キャンパスホローアルティチュード【写真1】が誕生し、ライアン・キャンパス氏、マーク・ハグ氏、ライアン・ウィーグル氏によるKHW シンジケートへ売買されました。

アルティチュードは2歳2ヶ月でVG-87点、その後EX-95点を獲得し6代連続EX、5代連続5万kg以上を達成しています。彼女は当ファミリーの特長である繁殖能力に優れ、アツプルを含め120頭もの娘牛(EX級22頭、VG級54頭)を生産しました。

その中でも当ファミリーのインデックスに注目が集まったのが、KHW ゴールドウイン アイコEX-91【写真4】の登場です。姉アツプルのようなショウカウではないが、RCかつゲノミック評価の高い息牛を多数生産したことで人気に拍車がかかりました。アイコはアルティチュード同様、北米だけで140頭以上の子孫を残しています。

アイコの娘牛の中でも、RCの未経産としてGTPI第1位だったKHW スーパー アドレン【写真11】は受精卵契約が殺到しました。カナダではジエンアイベック・シンジケートに購入されたアイコのバクスターによる受精卵から血液が広がっています。それが経産牛LPI第15位にランキングしたKHW アイカ バクスター【写真5】で、ドイツ・フランス・オーストラリアへも受精卵が輸出されています。アイカは特にスノーマンとの相性が良く、日本では2017年8月乳用種雄牛評価成績において、当団からスノーマン息牛JP3H56605「ベーター」【写真9】が全国第12位でデビューしました。ファミリー譲りの斉一性の高さが特長で、特に乳器の改良に定評があります。全兄弟にはLPI第1位のカナダの検定済み種雄牛エイクマンがおり、RCのヤングサイアとして活躍しています。全姉妹アキラ【写真6】やアキーリア【写真7】もブルダムとして活躍しています。

更に、現在RCの経産牛としてGTPI第1位のブロンデイン TJR スーパーサイアー アロマ【写真14】は高GTPIのヤングサイアを輩出しています。また、当ファミリーのモDESTイ娘牛がRCの未経産として現在GTPI第1位にランキングしています。乳牛改良に多大な影響を与えた牛としてアルティチュード、アツプル RED、アイコ、アイカはそれぞれホルスタイン・インターナショナル誌のREDインパクト・カウ・オブ・ザ・イヤーに選出されており、ショウとインデックス共に注目されるカウファミリーです。



系統図

- ♀ デイールーエー プリンセス ラッド リーダー EX-90 (S:ルシファー ラッド)
- ♀ デイールーエー アイdeal プレシヤス リーダー EX-90 (S:ブルータス)
- ♀ デイールーエー オーガスト EX-96 (S:ライリー)
- ♀ クローバーミスト オーギスター ET RC EX-94 (S:ジユブリアント)
- ♀ クローバーミスト アリーシャ RC EX-93 (S:プレリユード) **【写真2】**
- ♀ **キャンパスホロー アルティチュード ET RC EX-95 (S:ダーハム) 【写真1】**
- ♂ KHW カイト アドベント RED ET (S:カイト)
- ♀ KHW レジメント アツプル RED ET EX-96 (S:レジメントRED) **【写真3】**
 - ♀ MS アツプル MC バレンティン ET RC VG-88 (S:マツカチエン)
 - ♀ リバルリ リル アツプル ETS RC (S:デルタ)
 - ♀ ケンモア モデステイ アドリアナ ET RC (S:モデステイ) GTPI+2860 第139位
- ♂ KHW エルムパーク アクミー ET RC (S:タレント)
- ♀ KHW ゴールドウイン アイコ ET RC EX-91 (S:ゴールドウイン) **【写真4】**
 - ♀ KHW-I アイカ バクスター ET RC VG-89 (S:バクスター) **【写真5】**
 - ♀ ジエンアイベック スノーマン アキラ ET RC EX-90 (S:スノーマン) **【写真6】**
 - ♂ ジエンアイベック エイクマン ET RC (S:スノーマン) LPI+3263 第1位
 - ♀ ジエンアイベック スノーマン アキーリア ET RC VG-88 (S:スノーマン) **【写真7】**
 - ♀ ジエンアイベック スノーマン アキリアン ET RC EX-91 (S:スノーマン) **【写真8】**
 - ♂ **クームブーナ スノーマン ベーター ET (S:スノーマン) 【写真9】 GNT+2253 第12位**
 - ♀ KHW-I アイカメ バクスター ET VG-86 (S:バクスター) **【写真10】**
 - ♀ KHW スーパー アドレン ET RC EX-90 (S:スーパー) **【写真11】**
 - ♀ エムアイエス アドレン アスタロイド 2002 ET RC VG-86 (S:スーパーサイアー) **【写真12】**
 - ♀ BS エビーボーン エリート アスター ET (S:マーデイグラス) GNT+2435 第345位
 - ♀ KHW シヤムロツク アラリン ET RC VG-88 (S:シヤムロツク)
 - ♀ ホクレン SMR オハイオ アリス ET (S:オヘアP)
 - ♀ ホクレン SMR マレー アリス (S:ダース)
 - ♀ ホクレン SMR オハイオ アナ ET (S:オヘアP)
 - ♀ KHW クレイマー アリタ ET RC (S:クレイマー)
 - ♀ アイコ コルト 45 1215 ET (S:コルト45)
 - ♀ アイコ コルト 1217 P RED ET (S:コルト45)
 - ♀ KHW アルキミー アデリン RED ET VG-85 (S:アルケミー) **【写真13】**
 - ♀ ブロンディン TJR スーパーサイアー アロマ ET RC VG-85 (S:スーパーサイアー) **【写真14】** GTPI+2628
 - ♀ KHW スーパーサイアー アルエツト ET RC GP-82 (S:スーパーサイアー)
 - ♀ マウントエース アルエツト キング ET (S:キングボーイ) GNT+2643 第193位
 - ♀ ダイアリー KHW キングボーイ アツプル ET (S:キングボーイ) GNT+2391 第387位

第14回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

第14回当団黒毛和種枝肉共励会は、10月7日に北海道畜産公社道東事業所十勝工場にて開催されました。今回の出品頭数は、【一般牛の部】と【後代検定牛の部】それぞれ46頭と47頭、性別では去勢牛が59頭、雌牛が34頭の合計93頭でした。その結果をご報告いたします。

全体結果

【全体成績表】

性別	出品頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準値(%)	BMS No.	上物率
去勢	59	27.9	488.1	63	7.8	2.2	74.6	8.1	91.5%
雌	34	28.6	439.7	65	7.5	2.5	75.0	7.6	85.3%
全体	93	28.1	470.4	64	7.6	2.3	74.8	7.9	89.2%

の成績に及ばなかったものの、全国平均と比較をすると上物率は大きく上回り(全国:79.7%)、またその他の項目においては、同様の数値を示した結果となりました。

種雄牛別の成績表は下記の通りです。

【種雄牛別成績表】

	出品頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準値(%)	BMS No.	上物率
勝早桜5	27	28.5	501.6	68	7.9	2.5	75.0	7.9	85.2%
北乃大福	4	27.9	484.8	64	8.4	2.2	75.3	10.0	100%
北平安	3	30.1	514.3	76	8.3	2.5	76.2	9.7	100%
松福久	8	28.4	457.8	57	7.4	3.0	73.3	7.1	75.0%
梅栄福	1	24.7	479.0	63	8.0	1.8	75.3	12.0	100%
北百合忠	1	30.9	496.0	59	7.7	1.8	74.4	7.0	100%
北茂安93	1	26.6	478.0	51	6.7	2.2	72.5	5.0	100%
北勝隆25	1	29.6	521.0	67	8.0	2.0	75.1	8.0	100%
藤重栄	18	27.9	461.2	66	7.6	2.3	75.3	8.7	94.4%
北清桜	11	28.2	423.6	58	7.1	1.9	74.6	6.5	72.7%
北白翔	7	29.0	448.9	60	7.6	2.1	74.8	8.1	100%
北翔王	7	24.5	455.3	56	7.6	2.6	73.7	6.4	100%
光久照	4	29.5	449.5	67	7.1	2.1	75.4	9.3	100%

前共励会より14頭出品が多かった本共励会の成績は、前回は上回り89.2%の上物率でありました。

雌牛は、34頭の出品を頂き、4等級以上の上物率は29頭(85.3%)と高く、上物率、ロース芯面積、BMS No.は前回の成績を上回る結果となりました。

一方、去勢牛は59頭の出品を頂き、上物率は54頭(91.5%)と高く、BMS No.は0.2ポイント上昇しました。その他の項目は前回の成績に及ばなかったものの、全国平均と比較をすると上物率は大きく上回り(全国:79.7%)、またその他の項目においては、同様の数値を示した結果となりました。

部門別の成績は下記の通りです。

【一般牛の部】

性別	出品頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準値(%)	BMS No.	上物率
去勢	32	28.3	499.1	64	7.9	2.3	74.6	8.0	87.5%
雌	14	29.0	477.9	70	7.8	3.0	75.1	8.1	85.7%
全体	46	28.5	492.6	66	7.9	2.5	74.8	8.0	87.0%

【後代検定牛の部】

性別	出品頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準値(%)	BMS No.	上物率
去勢	27	27.4	475.1	62	7.6	2.1	74.6	8.1	96.3%
雌	20	28.3	413.1	62	7.2	2.3	75.0	7.4	85.0%
全体	47	27.8	448.7	62	7.4	2.2	74.8	7.8	91.5%

入賞牛

【第14回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞牛および成績】

褒賞	父		母の父	母方祖父	性別	月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準値(%)	BMS No.	格付	市町村名/出品者名	
	略号	名号													
名誉賞	H黒-80	北平安	安福久	平茂勝	雌	30.2	505	100	8.4	1.7	80.1	12	A5	新冠町/庄司 敏	
一般牛の部	最優秀賞	H黒-226	梅栄福	北茂安93	金安平	去勢	24.7	479	63	8.0	1.8	75.3	12	A5	新冠町/新冠町有牧野
	優秀賞	JB-24	北乃大福	隆之国	安福久	去勢	28.3	503	67	9.2	2.7	75.5	12	A5	津別町/迫田 隆
	優良賞	H黒-187	勝早桜5	光平照	安茂勝	去勢	27.9	448	63	7.1	1.5	75.4	11	A5	音更町/山川 克之
	優良賞	H黒-187	勝早桜5	茂弘桜	北安茂	去勢	31.2	575	78	8.5	3.2	75.1	10	A5	新得町/十勝北乃夢牧場株式会社
後代検定牛の部	最優秀賞	H黒-255	藤重栄	安平照	第2平茂勝	去勢	27.4	563	83	8.5	2.3	76.7	12	A5	上士幌町/上士幌町農協肥育センター
	優秀賞	H黒-255	藤重栄	北平安	平茂勝	去勢	27.9	527	66	8.7	2.8	74.6	11	A5	留寿都村/佐竹 功次
	優良賞	H黒-254	光久照	百合茂	美津福	雌	30.6	447	78	7.1	1.8	77.1	11	A5	白老町/勝沼 正則
	優良賞	H黒-255	藤重栄	糸福(鹿兒島)	福桜(宮崎)	去勢	27.1	509	67	8.1	2.7	74.7	11	A5	上士幌町/上士幌町農協肥育センター

※敬称略

【名誉賞】

名誉賞に輝いたのは、庄司敏さん(新冠町)の出品牛(30ヶ月雌、父「北平安」)でした。「外観は厚く幅が有り、長さも適度で、皮下脂肪の付着状態はサーロイン部分はやや厚いものの、非常に体型の良い肉量に富んだ枝肉でした。ロース芯は非常に大きく(100cm)、周囲筋にも脂肪交雑が満遍なく十分に入っており、まさにロース芯面積の大きさ同様100点と言えましょう。また、肉色も良好で、光沢があり、締りも特に良く、食欲をそそられる肉質であった。内面脂肪の付着状態も十分すぎるほどで、内モモ、サーロイン、バラといった全体のサシの抜け具合は飛び抜けており、まさに名誉賞にふさわしい」と内山審査委員長((公社)日本食肉格付協会北海道支所帯広事業所所長)から講評をいただきました。

【一般牛の部】

最優秀賞は新冠町有牧野の出品牛(24.7ヶ月去勢、父「梅栄福」)でした。「外観は厚み幅が有り長さ適度で、良好な外観であり、ロース芯の脂肪交雑も充分で光沢良好な枝肉でした。特に内面脂肪の載りは十分で2分体におけるサシの抜け具合も大変良好でした。また脂肪の質もしっとりとしていました」との評価をいただきました。

出品牛の父「梅栄福」は当団代表牛「北乃大福」の後継牛で、母の父も当団種雄牛「北茂安93」です。月齢が比較的若いにもかかわらず、良好な脂肪交雑が評価され、父「梅栄福」および「北乃大福」の脂肪交雑能力の高さが伺えます。また、「北乃大福」産子は同部の優秀賞にも選ばれており、親子での活躍が目玉されました。

【後代検定牛の部】

最優秀賞は、上士幌町農協肥育センターの出品牛で(27.4ヶ月去勢、父「藤重栄」)、「まずロース芯の大きさが目立ち、外観肉質ともに大変良好な枝肉でした。一般牛の最優秀賞同様、内面脂肪十分で全体におけるサシの抜け具合も十分で肉色、光沢ともに大変良好な肉質です」とのコメントでした。

後代検定種雄牛

今回はH黒-244「北翔王」、H黒-251「北白翔」、H黒-252「北清桜」、H黒-254「光久照」、H黒-255「藤重栄」計5頭の検定中の種雄牛産子が出品されました。

このうち、「藤重栄」は見事に【最優秀賞】、【優秀賞】、【優良賞】を受賞しました。「藤重栄」は父「第6栄」、2代祖「新糸行」、3代祖「第1花国」と藤良系の血統で固められ、優れた体積と脂肪交雑能力を持つ種雄牛として期待が高まっています。本共励会終了時点での検定成績は、19頭(去勢8頭、雌11頭)平均で、枝肉重量462kg、ロース芯面積65cm²、バラの厚さ7.5cm、BMS No.8.4、上物率89.5%となっており、来年3月迄に検定の終了を迎える予定です。

また、【優良賞】に選ばれたもう一頭の産子の父 H黒-254「光久照」(父:北平安)は、フィールド検定の成績が全て判明し、9頭(去勢6頭、雌3頭)平均で、枝肉重量473kg、ロース芯面積64cm²、バラの厚さ7.7cm、BMS No.8.1、上物率88.9%となっております。

惜しくも入賞は逃したものの、H黒-251「北白翔」(父:隆之国)は、本共励会終了時点において、21頭(去勢14頭、雌7頭)平均で、枝肉重量449kg、ロース芯面積60cm²、バラの厚さ7.7cm、BMS No.7.3、上物率90.5%となっており、年末迄には全て成績が判明する予定です。H黒-252「北清桜」(父:隆之国)は、本共励会終了時点において、15頭(去勢7頭、雌8頭)平均で、枝肉重量424kg、ロース芯面積57cm²、バラの厚さ7.2cm、BMS No.6.6、上物率73.3%となっており、来年3月末迄に全ての成績が判明する予定です。H黒-244「北翔王」(父:北乃大福)は、第11回全国和牛能力共進会、北海道代表として8区に出品され、優等賞9席の好成績を収めた種雄牛です。本共励会終了時点において、10頭(去勢9頭、雌1頭)平均で枝肉重量473kg、ロース芯面積58cm²、バラの厚さ8.2cm、BMS No.6.8、上物率90.0%となっており、来年の夏頃迄に全ての成績が判明する予定です。

最後に、本共励会にご協力をいただいた肥育農家と後援団体並びに関係者の皆様に、心より厚くお礼を申し上げます。

(業務部 唐紅慢)



前列 左より

後代検定の部 優秀賞 留寿都村 佐竹 功次 氏
 後代検定の部 最優秀賞&優良賞 上士幌町 上士幌町農協肥育センター
 名誉賞 新冠町 庄司 敏 氏
 一般牛の部 最優秀賞 新冠町 新冠町有牧野
 一般牛の部 優秀賞 津別町 迫田 隆 氏

後列 左より

後代検定の部 優良賞 白老町 勝沼 正則 氏
 一般牛の部 優良賞 音更町 山川 克之 氏
 一般牛の部 優良賞 新得町 十勝北乃夢牧場株式会社

(全て出品名簿に掲載する出品者の氏名です)



雌 30.2ヶ月齢
赤クレン十勝枝肉市場上場

名誉賞

H黒-80

きたひらやす

北平安

安平 × 菊照土井 × 菊安土井

◆母の父:安福久 ◆母の祖父:平茂勝 ◆肥育者:新冠町/庄司 敏 氏
 ◆枝肉重量:505kg ◆ロース芯面積:100cm² ◆BMS No.12 ◆格付:A-5



2017 全道 ホルスタインナショナルショウ

- ◆開催日時:2017年9月23日～24日 ◆場所:北海道ホルスタイン共進会場(安平町早来)
- ◆オフィシャルジャッジ:小椋 茂敏 氏 (上士幌町酪農家)
- ◆アソシエートジャッジ・ジャージーオフィシャルジャッジ:田井 道広 氏(北海道ホルスタイン農業協同組合)
- ◆ジュニアカップジャッジ:高橋 忠司 氏(オールジャパン・ブリーダーズ・サービス株式会社)

審査結果

ホルスタイン種	名号	父	出品者
 グランドチャンピオン シニアチャンピオン	TMFナデイル アツト アンナ エコー	アツトウツド	清水町 (有) 田中牧場
 リザーブグランドチャンピオン インターミディエートチャンピオン	ハツピーラインダミオンエンジニア ET	ダミオン	上士幌町 吉田 智貴 氏
ジュニアチャンピオン	TMFナダル マツカチエスター アンナ エコー	マツカチエン	広尾町 佐藤 孝一 氏
リザーブジュニアチャンピオン	セジス ビューティ スパークリング メイ	スパークリング	清水町 高橋 喜一 氏
リザーブインターミディエートチャンピオン	サニーフィールドGニツク インティ ポリー	ブラッドニツク	帯広市 野原 慎也 氏
リザーブシニアチャンピオン	OK アドベント ライオネル	アドベントRED	清水町 大久保 大輔 氏

ジャージー種	名号	父	出品者
ジュニアチャンピオン	アサナベ VB ルイスバシフイツク	レスポンス	広尾町 (株) エスティリアアティリーサービス
シニアチャンピオン	ライトホープ ミニスター リギンズ	ミニスター	帯広市 (株) 十勝加藤牧場
リザーブジュニアチャンピオン	ケニフロウ テキーラ クララ	テキーラ	帯広市 (株) 十勝加藤牧場
リザーブシニアチャンピオン	ケニフロウ テキーラ ロツキー	テキーラ	帯広市 (株) 十勝加藤牧場

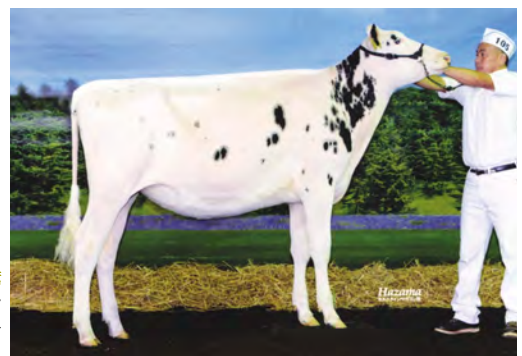
"当団種雄牛"娘牛の活躍	名号	父	出品者
Jサイアカーフクラス1等1席	ロイヤルクイーン デニソン ギヤラクボリタン	ギヤラクシー	訓子府町 稲辺 祐也 氏
Jサイア2歳クラス1等1席	ハーラ テンプトレス スラツシユ ET	スプラツシユ	佐呂間町 原田 良一 氏
Jサイア3歳クラス1等1席	プロミネンスパラゴンクリステイナ アイオーン	アイオーン	別海町 寺澤 佳吾 氏
出品5回以上表彰(当団種雄牛娘牛)	センバ アイオーン コンケスト	アイオーン	天塩町 泉波 展幸 氏

グランドチャンピオンには体躯の鮮明さやパワー溢れる乳房が評価された4歳クラスのTMF ナデイル アツト アンナ エコー(父:アツトウツド)が選ばれました。アンナ エコーは今回の結果で、同ショウにおけるジュニア(2014)、インターミディエート(2015)、シニア(2017)と3冠チャンピオンを達成しました。

当団種雄牛産子活躍として、リザーブジュニアチャンピオンにスパークリング娘牛であるセジス ビューティー



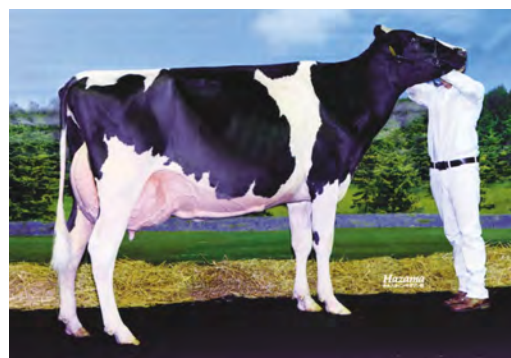
リザーブジュニアチャンピオン
セジス ビューティ スパークリング メイ
(父:スパークリング
清水町 高橋 喜一氏出品)



Jサイアカーフクラス1等1席
ロイヤルクイーン デニソン ギヤラクボリタン
(父:ギヤラクシー
訓子府町 稲辺 祐也氏出品)



Jサイア2歳クラス1等1席
 ハーラ テンブトレス スラツシュ ET
 (父: スプラッシュ
 佐呂間町 原田 良一氏出品)



Jサイア3歳クラス1等1席
 プロミネンス パラゴン クリステイナ アイオン
 (父: アイオン
 別海町 寺澤 佳吾氏出品)

スパークリング メイが選ばれたほか、Jサイア全クラスにおいて当団種雄牛娘牛が1等1席を獲得し、その資質の高さを見せてくれました！

ゴールデンナショナルセール&受精卵サイレントオークション！

付帯行事として、毎年恒例のゴールデンナショナルセールのほか、今年度は受精卵サイレントオークションも開催されました。受精卵サイレントオークションは2卵1セットとして最低販売価格を設定し、そこから希望者が入札を随時行っていく形式で行われたもので、掲示されたドナー牛の詳細を熱心に眺める購買希望者の姿が見られました。今回の落札価格は平均24万2,353円で、最高落札価格は1セット50万円となりました。

また、ゴールデンナショナルセールでは、清水町(有)田中牧場出品した「TMF モーサン ミツシーチエンジキヤンベラ ET」が最高額の¥4,020,000で落札され会場からは感嘆の声が挙がりました。同牛は昨年の北海道ナショナルショウで2歳クラスながらグランドチャンピオンを獲得した「TMF モーサン ミツシー ゴールドコースト ET VG-85」を母に持ち、母譲りの好体型が目を引き1頭でありました。

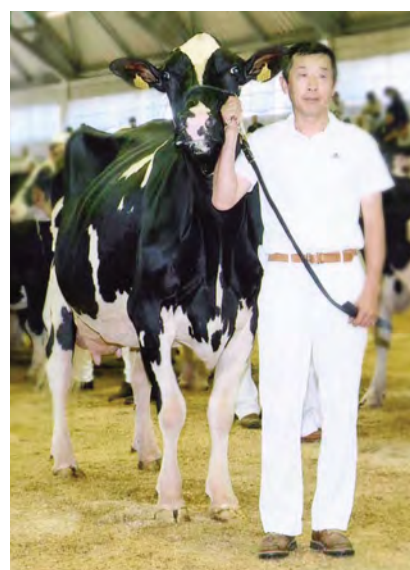
出品5回以上表彰のアイオン娘牛 ～センバ アイオン コンケスト～

今回のナショナルショウでは、5回以上の出品牛である2頭の娘牛がそれぞれ表彰を受けました。

1頭目は、2013年から今年度までの連続出場を果たした清水町の大久保大輔氏所有の「OK アドベント ライオネル」(父:アドベントRED)が受賞し、そして、もう1頭は、当団種雄牛アイオンの娘牛で、天塩町泉波展幸氏所有の「センバ アイオン コンケスト」が受賞しております。

同牛と泉波氏は2015年に開催された全日本ホルスタイン共進会で後代検定クラスの準名誉賞を受賞しております。2016年1月号のSIREにおける全共で活躍した娘牛を訪ねた現場レポートで一度取材をさせていただいておりました。その際に泉波氏は「なんとかあと2回頑張って通算5回出場を目指したいですね！」と語っており、今回のナショナルショウでは見事その目標を成し遂げたこととなります。

リング内を共に歩く相棒の頬を、労うように優しく撫でる泉波氏の姿が大変印象的でした。



センバ アイオン コンケスト
 (出品5回以上表彰牛)

ショウ、付帯行事の結果詳細は「北海道ホルスタイン農協」HPよりご確認ください。

<http://www.holstein.or.jp/hhac/>

目指せ!!! 酪農家

〜ジュニアリード

★稲辺暖土(いなべあいと)君★



稲辺暖土君とギヤラクポリタン

明るく笑顔が魅力的な暖土君は、訓子府町で総頭数140頭を飼養する稲辺祐也牧場の3人兄妹の長男で、現在11歳で小学校5年生です。体を動かすことが好きで、夏は水泳、冬はスキ

ーと季節ごとのスポーツを楽しむ暖土君は、牛舎での作業が何よりも好きなのだとか。中でも搾乳が一番好きで、ご両親不在時におじいさんおばあさんと3人で搾乳を担うしっかり者です。

暖土君がお父さんの勧めで初めてリードマンを務めたのは小学校1年生の時。お父さんと一緒に“ロイヤルクイーン アツトウツド ロイ リンダーチヤン”号を引き、緊張したもののまたやりたいと思ったことが、今に繋がっているそうです。ほぼ毎年きたみらいベビーショウ、北見ブラック&ホワイトショウ、きたみらい共進会で牛を引き、小学校5年生にしてリードマン経験は既に10回以上。3年生の時には、リードマンコンテストの3年生の部で優勝したことも。現在一番可愛がっている牛は今年度共にショウリングを歩き、北海道ホルスタインナショナルショウで1部1等1席の“RQ デニソン ギヤラクポリタン”号で、愛称はナポリタン。調教は自身で牛を捕まえて行っており、将来的には牛選びや毛刈りも行っていきたいと話しています。暖土君は常日頃よりお父さんの仕事をとても良く見て、授精記録から種雄牛の勉強もしているそうです。一番好きな種雄牛はギヤラクポリタンの父「ギヤラクシー」と話してくれた暖土君、有難う御座います。

将来的には牧場を継ぐ前に色々な経験を積みたいという明確な目標も持っており、現在一番行ってみたい牧場が上士幌町の吉田智貴牧場。そして最終目標は勿論「お父さんのように自家授精のできる、またショウでも活躍する酪農家」と、小学校5年生にして将来像を明確に熱く語ってくれました。

★渡辺瑛琉(わたなべえいる)君★



渡辺瑛琉君とモモちゃん

瑛琉君は、訓子府町で総頭数140頭を飼養する渡辺重明牧場の4人兄弟の4男で、現在7歳で小学校2年生。スポーツ万能なお父さんやお兄さんの影響から、水泳とスキー少年団で体

を動かすことが大好きな瑛琉君。ラーメンと動物が好きで、動物をテーマにしたテレビ番組をよく観るのだとか。動物の中でもとりわけ好きなのはやはり牛。苦手なものはメンマと算数と話す瑛琉君ですが、学校から帰宅するとまずは宿題を終わらせるというしっかり者！8歳とは思えない落ち着きぶりで、取材に協力して下さいました。

2016年きたみらいベビーショウで“バーチヒル アトニー ロゼ”号と共にショウデビューした瑛琉君ですが、リードマンを始めたきっかけは、牛好きという事と、お父さんの牛を引く姿を観て憧れた事でした。練習は主におじいさんと二人三脚。宿題を終えた夕方や、休日の少年団の活動がない日は、牛を引く練習や餌やりの手伝いをするのだそうです。

ショウの経験は今年度の北見ブラック&ホワイトショウで3回目。今回の相棒は今一番可愛がっている“バーチヒル リードガール モントレー”号で愛称はモモちゃん。好きなところはとても温厚で優しい所。今回のショウでは、クラスで2番目であったため、とても悔しい思いをし、次こそはと負けず嫌いの一面を見せていました。

将来の夢は、勿論お父さんのような酪農家になる事。2012年北海道ホルスタインナショナルショウ14部1等2席に入賞した“バーチヒル アール D カイト”号のような牛を自身で作出し、ショウで活躍したいという夢を話してくれました。

マンを訪ねてー

近年、共進会場で高校生以下の年代の方々の活躍をよく見かけるようになりました。今回は、4人のジュニアリードマンのお話を伺いました。

★成松舞衣(なりまつまい)ちゃん★



成松舞衣ちゃんとチビちゃん

舞衣ちゃんは、十勝清水町で総頭数350頭を飼養する成松直樹牧場の2人姉弟の長女で、おしゃれと動物と運動が好きな中学校1年生(13歳)。陸上部に所属し、高跳びやハードル走で活躍する一方で、休日には哺乳

乳から搾乳まであらゆる作業をこなすほど牛が好き。舞衣ちゃんは、共進会の時には調教や毛刈りも行うというベテランぶり。ご両親も「とても頼りにしている」と笑顔で語ります。現在可愛がっている牛は、小顔でサイズ中程度、人懐っこく大人しい「イチゴ」ちゃんが愛称の経産牛と、第61回清水町ホルスタイン共進会でリードマンを務め1部3席の「チビ」ちゃんこと“パイン リッジ バック キス ドア”号。舞衣ちゃんは殆どの牛に愛称をつけているそうで、いかに牛を好きかが伝わります。

舞衣ちゃんのリードマンデビューは小学校1年生の時でした。その時の相棒は「ノゾミ」ちゃんこと“パイン リッジ ダーハム プリンセス”号。お父さんのリードマンとしての姿に憧れたことがきっかけとなり、ショウリングへ足を踏み入れました。年1~2回リードマンとしての実績を積み、今年度のジュニアホルスタインクラブオール北海道写真コンテストでは、“パイン リッジ TMF チーズ ドアー 1 ET”号のリードマンを務め、見事金賞1席を受賞しました。

農業機械を乗りこなす、牛を軽々と操り、何でもできちゃうお父さんに憧れる舞衣ちゃん。将来の夢はとにかく牛に関わる仕事だそうで、中学校卒業後は農業高校に進学して牛の勉強を積んでいきたいと話してくれました。

★橋本杏奈(はしもとあんな)ちゃん★



橋本杏奈ちゃんとドツシー

杏奈ちゃんは、十勝清水町で総頭数90頭を飼養する橋本和博牧場の3姉妹の長女で、おしゃれと動物、体を動かすことが好きな小学校6年生(12歳)。運動の中でも特に踊ることが好きで、妹と韓国のガールズポップグループの

PVを観て振付を覚えることが楽しみなのだとか。一方でお母さんが牛舎に行っている間に1歳の妹の面倒を見たり、家事を手伝うなど小学校6年生とは思えない程のしっかり者。「妹がもう少し大きくなったら、また牛舎の手伝いをする。」と語るほどの牛好きで、同じく牛好きの小学校1年生(7歳)の妹明奈ちゃんと揃ってリードマンを務めます。牧場の牛で杏奈ちゃん一番のお気に入り、かつてショウにも出ていた御年10歳の“GET-K ミックスアンナ”号で、のんびり屋のとても温厚な性格に惹かれたのだそうです。

杏奈ちゃんがリードマンを始めたきっかけは、大の仲良しである成松舞衣ちゃんが牛を引く姿を観たことで、小学校1年生の時に“GET-K ステディー エース”号と共に初めてショウリングを歩きました。始めたばかりの頃は牛が思うように歩かず泣きながら歩行練習を行ったこともありましたが、その後8回ほどの経験を積み、今年度の清水町ホルスタイン共進会では、“GET-K プラネット ドツシー”号のリードマンを務め上げ、ジュニアホルスタインクラブオール北海道写真コンテストで、舞衣ちゃんに続く金賞2席を獲得しました。

しっかり者の杏奈ちゃんは、勿論将来の夢に関しても「ゆくゆくは姉妹で牧場を継ぎたいけれど、その前に酪農とは離れた仕事に就き社会勉強をしてから家に帰りたい」と大人顔負けのご意見。どんな作業でも素早く動き、農業機械を乗りこなすお父さんのような酪農家を目指していると話してくれました。

(十勝北見 橋本優子)

